

# サーバー設定仕様書自動生成サービス 『SSD-assistance』 【生成サンプル】

---

## 1.本サンプルについて

---

本サンプルは、サーバー設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』を使用して生成された編集可能な Microsoft Excel (.xlsx) 形式のファイルを、PDF化したものです。実際に生成される設定仕様書は非常に情報量が多いため、繰り返しの部分などを一部省略しておりますが、出力される項目については全てご確認いただける内容となっております。

## 2.サーバー設定仕様書自動生成サービス 『SSD-assistance』とは

---

セイ・テクノロジーズでは設定仕様書(パラメーターシート)を自動で作成するサービス『SSD-assistance』を提供しております。

[詳しくはこちらをクリックしてください](#)

## 3.お問い合わせ

---

SSD-assistanceに関するお問い合わせは、お気軽に以下のお問い合わせフォームからご連絡ください。

[詳しくはこちらをクリックしてください](#)

# サーバー 設定仕様書

## 【基本設定】

仕様書商事 様

コンピューター名	SAY-TECH-SV01
作成日	20YY年MM月DD日
作成者	セイ・テクノロジーズ

セイ・テクノロジーズ株式会社

(住所)

### 改訂履歷

## 1. システム構成

---

システムを構成しているハードウェア(ディスク、NICなど)やソフトウェア(役割と機能、更新プログラムなど)を記載しています。

## 2. システム設定

---

Windowsのシステム設定の主な設定内容を記載しています。

## 3. ローカルユーザーとグループ

---

ローカルユーザーの一覧と、ローカルユーザーとグループのプロパティを記載しています。

## 4. 共有フォルダー設定

---

このコンピューターに存在する共有フォルダーの一覧と、共有フォルダーのプロパティを記載しています。

## 5. グループ ポリシー

---

このコンピューターに適用されているグループ ポリシー(コマンド"`gpresult /v /scope computer`"の結果)を記載しています。

## 6. その他

---

Windowsの時刻やWindows Updateの自動更新、セキュリティに関するローカル グループ ポリシー、シャドウコピー、NICチーミングを記載しています。

### ◆商標

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

1. システム構成

1.1. ハードウェア

シリアルNo.	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
製造元	Microsoft Corporation
モデル	Virtual Machine

1.2. ディスク

このコンピューターに搭載しているディスク ドライブの一覧です。

No.	モデル	サイズ
1	Microsoft 仮想ディスク	127 GB

ディスクで構成している論理ボリュームの一覧です。

No.	DeviceID	FileSystem	FreeSpace	Size	ProviderName
1	C:	NTFS	112 GB	126 GB	

1.3. NIC

※DHCP サーバー、DNS サーバーは、IPv4 アドレスのみを記載しています。

No. 1	
デバイス名	Microsoft Hyper-V Network Adapter
MAC アドレス	xx:xx:xx:xx:xx:xx
IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx xx
デフォルトゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx
DHCP 有効	有効
DHCP サーバー (IPv4)	xxx.xxx.xxx.xxx
DNS サーバー (IPv4)	xxx.xxx.xxx.xxx
DNS サフィックス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXX

No. 2	
デバイス名	WAN Miniport (IP)
MAC アドレス	xx:xx:xx:xx:xx:xx
IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx xx
デフォルトゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx
DHCP 有効	有効
DHCP サーバー (IPv4)	xxx.xxx.xxx.xxx
DNS サーバー (IPv4)	xxx.xxx.xxx.xxx
DNS サフィックス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

1.4. ipconfig /all

Windows IP 構成	
ホスト名	SAY-TECH-SV01
プライマリ DNS サフィックス	SAY-TECH-SV01.com
ノード タイプ	ハイブリッド
IP ルーティング有効	いいえ
WINS プロキシ有効	いいえ
DNS サフィックス検索一覧	SAY-TECH-SV01.com

ネットワークアダプター	
No. 1	
名前	イーサネット アダプター イーサネット
メディアの状態	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
接続固有の DNS サフィックス	SAY-TECH-SV01.com
説明	Microsoft Hyper-V Network Adapter
物理アドレス	xx:xx:xx:xx:xx:xx
DHCP 有効	はい
自動構成有効	はい
一時 IPv6 アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
リンクローカル IPv6 アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx(優先)

デフォルト ゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx
DHCP サーバー	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
DHCPv6 IAID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
DHCPv6 クライアント DUID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
DNS サーバー	xxx.xxx.xxx.xxx
NetBIOS over TCP/IP	有効
接続固有の dns サフィックス検索の一覧	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

このネットワーク アダプターに割り当てられたIPv4 アドレスの一覧です。

No.	IPv4 アドレス	サブネット マスク	リース取得	リースの有効期限
1	xxx.xxx.xxx.xxx(優先)	xxx.xxx.xxx.xxx	20YY年MM月DD日	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

このネットワーク アダプターに割り当てられたIPv6 アドレスの一覧です。

No.	IPv6 アドレス	リース取得	リースの有効期限
1	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx(優先)	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

No. 2

名前	Tunnel adapter isatap.say.co.jp
メディアの状態	メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス	SAY-TECH-SV01.com
説明	Microsoft ISATAP Adapter
物理アドレス	xx:xx:xx:xx:xx:xx
DHCP 有効	いいえ
自動構成有効	はい
一時 IPv6 アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
リンクローカル IPv6 アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx(優先)
デフォルト ゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx
DHCP サーバー	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
DHCPv6 IAID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
DHCPv6 クライアント DUID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
DNS サーバー	xxx.xxx.xxx.xxx
NetBIOS over TCP/IP	有効
接続固有の dns サフィックス検索の一覧	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

このネットワーク アダプターに割り当てられたIPv4 アドレスの一覧です。

No.	IPv4 アドレス	サブネット マスク	リース取得	リースの有効期限
1	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

このネットワーク アダプターに割り当てられたIPv6 アドレスの一覧です。

No.	IPv6 アドレス	リース取得	リースの有効期限
1	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx(優先)	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

1.5. サーバーの役割と機能

- [ ] Active Directory Federation Services
- [ ] Active Directory Rights Management サービス

[ ] Active Directory Rights Management サーバー

[ ] ID フェデレーション サポート
- [ ] Active Directory ドメイン サービス
- [ ] Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス
- [ ] Active Directory 証明書サービス

[ ] 証明機関

[ ] オンライン レスポンダー

[ ] ネットワーク デバイス登録サービス

[ ] 証明機関 Web 登録
- 一部省略
- 1.6. Hyper-V
- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| HyperVRequireEnabled | XXXXXXXXXXXXXXXXXX |
| VM_MonitorModeExt    | XXXXXXXXXXXXXXXXXX |

VM_FirmwareEnabled	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
SLAT_Supported	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
DEP_Supported	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

1.7. インストールされた更新プログラム

インストールされた更新プログラムをインストール日降順で記載しています。

No.	名前	プログラム	発行元	インストール日 (yyyyMMdd)
1	KBxxxxxxx	Microsoft Windows	Microsoft Corporation	yyyyMMdd
2	KBxxxxxxx	Microsoft Windows	Microsoft Corporation	yyyyMMdd
3	KBxxxxxxx	Microsoft Windows	Microsoft Corporation	yyyyMMdd

1.8. インストールされたプログラム

インストールされたプログラムをインストール日降順で記載しています。

No.	名前	バージョン	発行元	インストール日 (yyyyMMdd)
1	Microsoft Edge WebView2 Runtime	102.0.1245.44	Microsoft Corporation	yyyyMMdd
2	Microsoft Edge Update	1.3.195.15		yyyyMMdd
3	Microsoft Edge	86.0.622.38	Microsoft Corporation	yyyyMMdd

1.9. サービス

Windows に登録されたサービスの一覧です。

No.	表示名	サービス名	スタートアップの種類	状態
1	AllJoyn Router Service	AJRouter	手動	停止
2	Application Layer Gateway Service	ALG	手動	停止
3	Application Identity	ApplDSvc	手動	停止
4	Application Information	Appinfo	手動	実行中
5	Application Management		手動	実行中

一部省略

2. システム設定

2.1. システムの情報 … [コントロール パネル] - [システム]

Windowsのエディション

エディション	Microsoft Windows Server 2022 Datacenter
バージョン	21H2
バージョン(旧表記、2009以降未使用)	2009
OSビルド	20348,169
サービスパック	

システム

プロセッサ

プロセッサ名	Intel(R) Xeon(R) CPU E3-1226 v3 @ 3.30GHz
プロセッサ数	1
合計コア数	4
メモリ	1.96 GB
システムの種類	x64-based PC

コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定

コンピューター名	SAY-TECH-SV01
フルコンピューター名	SAY-TECH-SV01.com
コンピューターの説明	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
ワークグループ/ドメイン	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

Windowsライセンス認証

プロダクトID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
---------	--------------------

2.2. Windows Update … [設定] - [更新とセキュリティ]

アクティブ時間

☐ このデバイスのアクティブ時間を、アクティビティに基づいて自動的に調整する

開始時刻	8:00
終了時刻	17:00

詳細オプション

更新プログラムのオプション

☐ Windows の更新時に他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る

☐ 従量制課金接続を使って更新プログラムをダウンロードする

☐ 更新プログラムをインストールするために再起動が必要な場合は、できるだけすぐにこのデバイスを再起動してください。  
再起動の前に通知が表示されます。デバイスがコンセントに接続されていて電源が入っている必要があります。

更新プログラムの通知

☐ 更新を完了するためにPCの再起動が必要な場合は、通知を表示します

更新の一時停止

一時停止期間	
--------	--

2.3. デバイスのインストール設定 … [システムのプロパティ] - [ハードウェア] - [デバイスのインストール設定]

デバイス用に利用可能な製造元のアプリとカスタム アイコンを自動的にダウンロードしますか？

☒ はい

☐ いいえ

2.4. パフォーマンス … [システムのプロパティ] - [詳細設定] - [パフォーマンス]

視覚効果

☒ コンピュータに応じて最適なものを自動的に選択する

☐ デザインを優先する

☐ パフォーマンスを優先する

☐ カスタム

詳細設定

プロセッサのスケジュール

☐ プログラム

☒ バックグラウンドサービス

仮想メモリ

☒ すべてのドライブのページングファイルサイズを自動的に管理する

各ドライブのページングファイルのサイズ

ドライブ	ページングファイルのサイズ (MB)		
	タイプ	初期サイズ	最大サイズ
XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

データ実行防止

☐ 重要なWindowsのプログラムおよびサービスについてのみ有効にする



- 次に選択するものを除くすべてのプログラムおよびサービスについてDEPを有効にする

## 2.5. 起動と回復 … [システムのプロパティ] - [詳細設定] - [起動と回復]

### 起動システム

既定のオペレーティングシステム Windows Server

■ オペレーティングシステムの一覧を表示する時間 30 秒間

□ 必要なときに修復オプションを表示する時間 30 秒間

### システムエラー

■ システムログにイベントを書き込む

■ 自動的に再起動する

### デバッグ情報の書き込み

#### メモリ ダンプ

- ☐ (なし)  
☐ 完全メモリダンプ  
☐ 最小メモリダンプ (256KB)  
☐ アクティブメモリ ダンプ  
☐ カーネルメモリダンプ  
☒ 自動メモリダンプ

ダンプ ファイル C:\Windows\MEMORY.DMP

■ 既定のファイルに上書きする

□ ディスク領域が少ないときでもメモリ ダンプの自動削除を無効にする

## 2.6. 環境変数 … [システムのプロパティ] - [詳細設定] - [環境変数]

### ユーザー環境変数

ユーザー	変数	値
NT AUTHORITY\SYSTEM	Path	%USERPROFILE%\AppData\Local\Microsoft\WindowsApps;
NT AUTHORITY\SYSTEM	TEMP	%USERPROFILE%\AppData\Local\Temp
NT AUTHORITY\SYSTEM	TMP	%USERPROFILE%\AppData\Local\Temp
NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE	Path	%USERPROFILE%\AppData\Local\Microsoft\WindowsApps;
NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE	TEMP	%USERPROFILE%\AppData\Local\Temp

一部省略

### システム環境変数

変数	値
ComSpec	%SystemRoot%\system32\cmd.exe
DriverData	C:\Windows\System32\Drivers\DriverData
OS	Windows_NT
Path	%SystemRoot%\system32;%SystemRoot%;%SystemRoot%\System32\Wbem;%SYSTEMROOT%\System32\WindowsPowerShell\v1.0%;%SYSTEMROOT%\System32\OpenSSH\
PATHEXT	.COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC
PROCESSOR_ARCHITECTURE	AMD64
PSModulePath	%ProgramFiles%\PowerShell\Modules;%SystemRoot%\system32\WindowsPowerShell\v1.0\

一部省略

## 2.7. リモート … [システムのプロパティ] - [リモート]

### リモートアシスタンス

□ このコンピュータへのリモートアシスタンス接続を許可する

#### リモート制御

□ このコンピュータがリモートで制御されるのを許可する

#### 招待

招待を有効にしておく最大の時間  分  時間  日

□ Windows Vista 以降を実行しているコンピュータからのみ使用できる招待を作成する

### リモート デスクトップ

☐ このコンピュータへのリモート接続を許可しない

☒ このコンピュータへのリモート接続を許可する

■ ネットワーク レベル認証でリモート デスクトップを実行しているコンピュータからのみ接続を許可する

### リモート デスクトップ ユーザー

## 2.8. 日付と時刻 … [コントロール パネル] - [日付と時刻]

### 日付と時刻

■ 時刻を自動的に設定する

□ タイム ゾーンを自動的に設定する

タイムゾーン	
タイムゾーン	(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京
<input checked="" type="checkbox"/> 時計が変更されたら通知を受け取る	
追加の時計	
<input type="checkbox"/> この時計を表示する	
タイムゾーンの選択	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
表示名の入力	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/> この時計を表示する	
タイムゾーンの選択	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
表示名の入力	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
インターネット時刻	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット時刻サーバーと同期する	
サーバー	time.windows.com,0x8

3. ローカルユーザーとグループ

3.1. ローカルユーザー

No.	名前	フルネーム	説明
1	Administrator	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	コンピューター/ドメインの管理用 (ビルトイン アカウント)

3.2. 各ローカルユーザーのプロパティ

No. 1 Administrator

名前	Administrator
フルネーム	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
説明	コンピューター/ドメインの管理用 (ビルトイン アカウント)

☐ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要

☐ ユーザーはパスワードを変更できない

☒ パスワードを無期限にする

☐ アカウントを無効にする

☐ アカウントのロックアウト

所属するグループ

No.	名前
1	Administrators
2	Hyper-V Administrators
3	Performance Log Users
4	docker-users

プロファイル

ユーザー プロファイル	
プロファイル パス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
ログオン スクリプト	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
ホーム フォルダー	
<input checked="" type="radio"/> ローカル パス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
<input type="radio"/> 接続ドライブ	パス:

環境

起動プログラム

☐ ログオン時に次のプログラムを起動する

プログラムのファイル名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
作業フォルダー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

クライアントのデバイス

☒ ログオン時、クライアントのドライブに接続する

☒ ログオン時、クライアントのプリンターに接続する

☒ クライアントの通常使うプリンターを既定にする

セッション

切断されたセッションの終了	しない
アクティブ セッションの最大時間	しない
アイドルなセッションの最大時間	しない

セッションの限界に達したり接続が中断した場合

☒ セッションから切断する

☐ セッションを終了する

再接続の許可

☒ すべてのクライアント

☐ 前回接続したクライアント

リモート制御

☒ リモート制御を有効にする

☒ セッションを制御、監視するにはユーザーの許可を必要とする

制御レベル

☐ ユーザーのセッションを監視する

☒ ユーザーのセッションと対話する

リモート デスクトップ サービスのプロファイル

リモート デスクトップ サービスのユーザー プロファイル

プロファイル パス	
-----------	--

リモート デスクトップ サービスのホーム フォルダー

☒ ローカル パス

☐ 接続ドライブ

パス:

☐ このユーザーのリモート デスクトップ セッション ホスト サーバーへのログオンを拒否する

ダイヤルイン

リモートアクセス許可

☐ アクセスを許可

☐ アクセスを拒否

☒ NPS ネットワーク ポリシーでアクセスを制御

☐ 発信者番号を確認

コールバック オプション

☒ コールバックしない

☐ 呼び出し元による設定 (ルーティングとリモート アクセス サービスのみ)

☐ 常に次の電話番号にコールバック

☐ 静的 IP アドレスを割り当てる

☐ 静的 IPv4 アドレスを割り当てる☐ 静的 IPv6 アドレスを割り当てる

☐ プレフィックス☐ インターフェイス ID

☐ 静的ルートを適用

No.	種類	宛先/マスク	メトリック
1			

3.3. 各グループのプロパティ

No. 1 Access Control Assistance Operators

名前	Access Control Assistance Operators
説明	このグループのメンバーは、このコンピューター上のリソースの認証属性およびアクセス許可をリモートから照会できます。
所属するメンバー	
No.	名前
1	

No. 2 Administrators

名前	Administrators
説明	コンピューター/ドメインに完全なアクセス権があります。
所属するメンバー	
No.	名前
1	Administrator

No. 3 Backup Operators

名前	Backup Operators
説明	Backup Operators は、バックアップの作成またはファイルを復元するときには、セキュリティの制限を無視することができます。
所属するメンバー	
No.	名前
1	

No. 4 Certificate Service DCOM Access

名前	Certificate Service DCOM Access
説明	このグループのメンバーは、エンタープライズの証明機関に接続できます。
所属するメンバー	
No.	名前
1	

一部省略

4. 共有フォルダー設定

4.1. 共有フォルダー

No.	共有名	フォルダーパス	説明
1	ADMIN\$	C:\Windows	Remote Admin
2	C\$	C:\	Default share

4.2. 各共有フォルダーのプロパティ

※セキュリティのアクセス許可エントリの注意

通常、アクセス許可エントリはプリンシパルと高度なアクセス許可ごとに記載していますが、システムが管理する共有フォルダーなどの一部のアクセス許可エントリで例外があります。一部のアクセス許可エントリは、システム上、適用先を細分化し、複数のアクセス許可エントリに分けて管理されている場合があります。本書ではそのシステムが管理している単位に従う為、記載が冗長になっています。

例えば、適用先が「このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル」のアクセス許可エントリを、「このフォルダーのみ」と「サブフォルダーとファイルのみ」の2つのアクセス許可エントリで表している場合があります。

No. 1 ADMIN\$

全般

フォルダーパス	C:\Windows		
説明	Remote Admin		
ユーザー数制限	<input checked="" type="radio"/> 無制限	<input type="radio"/> 最大	

オフラインの設定

☒ ユーザーが指定したファイルおよびプログラムのみオフラインで利用可能にする

☐ BranchCacheを有効にする

☐ 共有フォルダーにあるファイルやプログラムはオフラインで利用可能にしない

☐ 共有フォルダーからユーザーが開いたファイルとプログラムは、すべて自動的にオフラインで利用可能にする

☐ パフォーマンスが最適になるようにする

共有のアクセス許可					
No.	グループ名またはユーザー名	アクセス許可 (許可/拒否)	フルコントロール	変更	読み取り
1	BUILTIN\Administrators	許可	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	BUILTIN\Backup Operators	許可	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	NT AUTHORITY\INTERACTIVE	許可	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

セキュリティ (アクセス許可エントリ)

No. 1

プリンシパル	CREATOR OWNER				
適用先	サブフォルダーとファイルのみ	<input type="checkbox"/> 継承	<input type="checkbox"/> 継承元がない	<input type="checkbox"/> 種類	<input type="checkbox"/> 許可

高度なアクセス許可

☒ フルコントロール

☒ フォルダーのスキャン/ファイルの実行

☒ フォルダーの一覧/データの読み取り

☒ 属性の読み取り

☒ 拡張属性の読み取り

☒ ファイルの作成/データの書き込み

☒ フォルダーの作成/データの追加

☒ 属性の書き込み

☒ 拡張属性の書き込み

☒ サブフォルダーとファイルの削除

☒ 削除

☒ アクセス許可の読み取り

☒ アクセス許可の変更

☒ 所有権の取得

☐ これらのアクセス許可を、このコンテナーの中にあるオブジェクトやコンテナーのみ適用する

No. 2

プリンシパル	NT AUTHORITY\SYSTEM				
適用先	サブフォルダーとファイルのみ	<input type="checkbox"/> 継承	<input type="checkbox"/> 継承元がない	<input type="checkbox"/> 種類	<input type="checkbox"/> 許可

高度なアクセス許可

☒ フルコントロール

☒ フォルダーのスキャン/ファイルの実行

☒ フォルダーの一覧/データの読み取り

☒ 属性の読み取り

☒ 拡張属性の読み取り

☒ ファイルの作成/データの書き込み

☒ フォルダーの作成/データの追加

☒ 属性の書き込み

☒ 拡張属性の書き込み

☒ サブフォルダーとファイルの削除

☒ 削除

☒ アクセス許可の読み取り

☒ アクセス許可の変更

☒ 所有権の取得

☐ これらのアクセス許可を、このコンテナーの中のみ適用する

一部省略

No. 2 C\$

全般

フォルダーパス	C:\		
説明	Default share		
ユーザー数制限	<input checked="" type="radio"/> 無制限	<input type="radio"/> 最大	

オフラインの設定

☒ ユーザーが指定したファイルおよびプログラムのみオフラインで利用可能にする

☐ BranchCacheを有効にする

☐ 共有フォルダーにあるファイルやプログラムはオフラインで利用可能にしない

- ☐ 共有フォルダーからユーザーが開いたファイルとプログラムは、すべて自動的にオフラインで利用可能にする
- ☐ パフォーマンスが最適になるようにする

共有のアクセス許可					
No.	グループ名またはユーザー名	アクセス許可 (許可/拒否)	フルコントロール	変更	読み取り
1	BUILTIN¥Administrators	許可	■	■	■
2	BUILTIN¥Backup Operators	許可	■	■	■
3	NT AUTHORITY¥INTERACTIVE	許可	■	■	■

セキュリティ (アクセス許可エントリ)

No. 1

プリンシパル	CREATOR OWNER				
適用先	サブフォルダーとファイルのみ	継承	継承元がない	種類	許可

高度なアクセス許可

☐ フルコントロール

☐ フォルダーのスキャン/ファイルの実行

☐ フォルダーの一覧/データの読み取り

☐ 属性の読み取り

☐ 拡張属性の読み取り

☐ ファイルの作成/データの書き込み

☐ フォルダーの作成/データの追加

☐ 属性の書き込み

☐ 拡張属性の書き込み

☐ サブフォルダーとファイルの削除

☐ 削除

☐ アクセス許可の読み取り

☐ アクセス許可の変更

☐ 所有権の取得

No. 2

プリンシパル	NT AUTHORITY¥SYSTEM				
適用先	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル	継承	継承元がない	種類	許可

高度なアクセス許可

☐ フルコントロール

☐ フォルダーのスキャン/ファイルの実行

☐ フォルダーの一覧/データの読み取り

☐ 属性の読み取り

☐ 拡張属性の読み取り

☐ ファイルの作成/データの書き込み

☐ フォルダーの作成/データの追加

☐ 属性の書き込み

☐ 拡張属性の書き込み

☐ サブフォルダーとファイルの削除

☐ 削除

☐ アクセス許可の読み取り

☐ アクセス許可の変更

☐ 所有権の取得

4.3. Active Directoryで公開している共有フォルダー

No. 1	
共有名	共有
共有フォルダーのパス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
説明	System.Object[]
所有者	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
キーワード	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

5. グループ ポリシー

本書は、ローカルの管理者の設定を出力する為、グループポリシーを適用している環境では、実際に適用されている設定と異なる内容が表示される場合があります。

Microsoft (R) Windows (R) Operating System グループ ポリシーの結果ツール v2.0  
c Microsoft Corporation. All rights reserved.

作成日 2024/09/02 時刻 13:58:55

RSOP のデータ SAY-TECH-SV01¥Administrator - SAY-TECH-SV01 : ログ モード

-----

OS 構成:                   メンバー サーバー

OS バージョン:           10.0.20348

サイト名:                Default-First-Site-Name

移動プロファイル:       N/A

ローカル プロファイル    C:¥Users¥Administrator

低速リンクで接続: いいえ

コンピューター設定

-----

前回のグループ ポリシーの適用時: 20YY/MM/DD (hh:mm:ss)

グループ ポリシーの適用元:    SAY-2016.tech

グループ ポリシーの低速リンクのしきい値: 500 kbps

ドメイン名:                SAY

ドメインの種類:               WindowsNT 4

適用されたグループ ポリシー オブジェクト

-----

Default Domain Policy

ローカル グループ ポリシー

システムは次のセキュリティ グループの一部です

-----

BUILTIN¥Administrators

Everyone

BUILTIN¥Users

RDS Endpoint Servers

NT AUTHORITY¥NETWORK

NT AUTHORITY¥Authenticated Users

This Organization

認証機関によりアサートされた ID

System Mandatory Level

一部省略

GPO: Default Domain Policy

フォルダー ID: Software¥Policies¥Microsoft¥W32Time¥Config¥RequireSecureTimeSyncRequests

値:    0, 0, 0, 0

状態:   有効

GPO: Default Domain Policy

フォルダー ID: Software¥Policies¥Microsoft¥W32Time¥Config¥MaxPosPhaseCorrection

値:    0, 163, 2, 0

状態:   有効

GPO: Default Domain Policy

フォルダー ID: Software¥Policies¥Microsoft¥W32Time¥Config¥ChainEntryTimeout

値: 16, 0, 0, 0  
状態: 有効

GPO: Default Domain Policy  
フォルダー ID: Software\Policies\Microsoft\W32Time\Config\ChainMaxEntries  
値: 128, 0, 0, 0  
状態: 有効

GPO: Default Domain Policy  
フォルダー ID: Software\Policies\Microsoft\W32Time\Config\SpikeWatchPeriod  
値: 132, 3, 0, 0  
状態: 有効

GPO: Default Domain Policy  
フォルダー ID: Software\Policies\Microsoft\W32Time\Config\MinPollInterval  
値: 6, 0, 0, 0  
状態: 有効



6. その他

6.1. ローカル グループ ポリシー

[コンピューターの構成] - [管理用テンプレート] - [システム] - [Windowsタイムサービス]

グローバル構成設定

FrequencyCorrectRate	4
HoldPeriod	5
LargePhaseOffset	50000000
MaxAllowedPhaseOffset	1
MaxNegPhaseCorrection	54000
MaxPosPhaseCorrection	54000
PhaseCorrectRate	1
PollAdjustFactor	5
SpikeWatchPeriod	900
UpdateInterval	100
AnnounceFlags	10
EventLogFlags	2
LocalClockDispersion	10
MaxPollInterval	10
MinPollInterval	6
ClockHoldoverPeriod	7800
RequireSecureTimeSyncRequests	
UtilizeSslTimeData	1
ClockAdjustmentAuditLimit	800
ChainEntryTimeout	
ChainMaxEntries	
ChainMaxHostEntries	
ChainDisable	
ChainLoggingRate	

[コンピューターの構成] - [管理用テンプレート] - [システム] - [Windowsタイムサービス] - [タイムプロバイダー]

Windows NTP クライアントを構成する

NtpServer	time.windows.com,0x8
Type	NTP
CrossSiteSyncFlags	2
ResolvePeerBackoffMinutes	15
ResolvePeerBackoffMaxTimes	7
SpecialPollInterval	1024
EventLogFlags	1

Windows NTP クライアントを有効にする	True
Windows NTP サーバーを有効にする	False

[コンピューターの構成] - [管理用テンプレート] - [Windows コンポーネント] - [Windows Update]

自動更新を構成する

● 未構成

○ 有効

○ 無効

オプション

自動更新の構成	3 - 自動ダウンロードしインストールを通知
---------	------------------------

以下の設定が必要なのは (適用されるのは)、4 を選択した場合だけです。

☐ 自動メンテナンス時にインストールする

インストールを実行する日

インストールを実行する時間

スケジュールされているインストール日に対して [4 - 自動ダウンロードしインストール日時を指定] を選択してスケジュールを指定した場合、以下のオプションを使用して更新を毎週、隔週、または毎月行うように制限できます。

☐ 毎週

☐ 毎月第1週

☐ 毎月第2週

☐ 毎月第3週

☐ 毎月第4週

☐ 他の Microsoft 製品の更新プログラムのインストール

[コンピューターの構成] - [Windowsの設定] - [セキュリティの設定] - [ローカルポリシー] - [セキュリティオプション]

ユーザー アカウント制御: アプリケーションのインストールを検出し、昇格をプロンプトする	有効	
ユーザー アカウント制御: ビルトイン Administrator アカウントのための管理者承認モード	未定義	
ユーザー アカウント制御: 安全な場所にインストールされている UIAccess アプリケーションの昇格のみ	有効	
ユーザー アカウント制御: 各ユーザーの場所へのファイルまたはレジストリの書き込みエラーを仮想化する	有効	
ユーザー アカウント制御: 管理者承認モードですべての管理者を実行する	有効	
ユーザー アカウント制御: 管理者承認モードでの管理者に対する昇格時のプロンプトの動作	Windows 以外のバイナリに対する同意を要求する	
ユーザー アカウント制御: 署名され検証された実行ファイルのみを昇格する	無効	
ユーザー アカウント制御: 昇格のプロンプト時にセキュリティで保護されたデスクトップに切り替える	有効	
ユーザー アカウント制御: 標準ユーザーに対する昇格時のプロンプトの動作	資格情報を要求する	
[コンピューターの構成] - [Windowsの設定] - [セキュリティの設定] - [アカウント ポリシー] - [パスワードのポリシー]		
パスワードの最小文字数の監査	8	文字
パスワードの最小文字数の制限を緩和する		
パスワードの長さ	7	文字以上
パスワードの変更禁止期間	0	日
パスワードの有効期限	無期限	
パスワードの履歴を記録する	0	回
暗号化を元に戻せる状態でパスワードを保存する	無効	
複雑さの要件を満たす必要があるパスワード	無効	
[コンピューターの構成] - [Windowsの設定] - [セキュリティの設定] - [アカウント ポリシー] - [アカウント ロックアウトのポリシー]		
アカウントのロックアウトのしきい値	0	回ログオンに失敗
ロックアウト カウンターのリセット	XXXXXXX	分後
ロックアウト期間	XXXXXXX	分
管理者のアカウント ロックアウトを許可する	未定義	

6.2. シャドウコピー

※シャドウコピーで構成した各ボリュームのスケジュールは、タスク スケジューラでボリュームIDを名前に含むタスクとして登録されています。スケジュールについては、そちらをご覧ください。

No. 1

ボリューム	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
ボリュームID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
記憶域	
次のボリューム上に配置	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
最大サイズ	
<div><div>● 制限なし</div><div>○ 制限値</div></div>	

No. 2

ボリューム	C:
ボリュームID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
記憶域	
次のボリューム上に配置	C:
最大サイズ	
<div><div>○ 制限なし</div><div>● 制限値</div></div>	51149 MB

6.3. NIC チーミング

No. 1

チーム名	TestTeam
状態	OK
チーミング モード	スイッチに依存しない
負荷分散モード	アドレスのハッシュ
メンバー アダプター	

No. 1

名前	イーサネット
説明	Microsoft Hyper-V Network Adapter
構成された役割	アクティブ
現在の状態	アクティブ

受信/送信スピード	1 Gbps/1 Gbps
-----------	---------------